

第7章 まとめ ~ 総合問題をいっしょに解きましょう

次の取引を仕訳し、総勘定元帳を完成させ、試算表を作成しなさい。

なお、会計期間は4月1日より3月31日までとする。

1. 4/1 現金 3,000,000 円を資本金とした会社を設立した。
2. 4/12 営業所を開くために建物 500,000 円を現金で購入した。
3. 6/20 印刷用の用紙 10,000 円を現金で購入した。
4. 7/1 K 銀行より現金 8,000,000 円を借り入れた。
5. 7/1 K 銀行へ利息 1 年分 60,000 円を現金で支払った。
6. 8/15 S 商店より商品 10 個を 6,000,000 円にて現金で仕入れた。
7. 9/10 T 商店へ商品 5 個を 8,000,000 円にて現金で販売した。

出来あがった残高試算表を基に次の決算整理事項を仕訳し、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

決算整理事項

決算日につき、当期に取得した建物について減価償却を行う。なお、減価償却の方法は定額法(耐用年数 20 年、残存価格は取得原価の 10%)とする。

期中に支払った利息は 1 年分の為、来期分の繰延処理を行う

商品の在庫が 3,000,000 円あった。

印刷用紙が期末時点で未使用分が 7,000 円分あった。

第7章 解答用紙

	日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	4/1				
2	4/12				
3	6/20				
4	7/1				
5	7/1				
6	8/15				
7	9/10				

現金	1
建物	2
繰越商品	3
消耗品	4
前払利息	5
借入金	6
資本金	7

売 上	8
仕 入	9
消耗品費	10
支払利息	11
減価償却費	12

残高試算表

借方残高	元丁	勘定科目	貸方残高
	1	現 金	
	2	建 物	
	6	借入金	
	7	資本金	
	8	売 上	
	9	仕 入	
	10	消耗品費	
	11	支払利息	

[決算整理仕訳]

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
1				
2				
3				
4				

決算整理後残高試算表

借方残高	元丁	勘定科目	貸方残高
	1	現金	
	2	建物	
	3	繰越商品	
	4	消耗品	
	5	前払利息	
	6	借入金	
	7	資本金	
	8	売上	
	9	仕入	
	10	消耗品費	
	11	支払利息	
	12	減価償却費	